

平成30年亀岡市議会定例会12月議会一般質問

亀岡市議会

平成30年亀岡市議会定例会12月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
12月4日(火)	10:00～	個人	1 富谷加都子	一問一答	
	10:45～		2 石野 善司	一問一答	
	11:30～		3 竹田 幸生	一問一答	
	休憩				
	13:15～		4 三上 泉	一括	
	14:00～		5 藤本 弘	一問一答	
	14:45～		6 福井 英昭	一括	
12月5日(水)	10:00～	個人	7 平本 英久	一問一答	
	10:45～		8 並河 愛子	一括	
	11:30～		9 西口 純生	一問一答	
	休憩				
	13:15～		10 木曾 利廣	一問一答	
	14:00～		11 馬場 隆	一括	
	休憩				
	15:00～		12 奥野 正三	一問一答	
15:45～	13 明田 昭	一問一答			
12月6日(木)	10:00～	個人	14 田中 豊	一問一答	
	10:45～		15 小川 克己	一問一答	
	11:30～		16 齊藤 一義	一括	
	休憩				
	13:15～		17 菱田 光紀	一問一答	
	14:00～		18 酒井安紀子	一問一答	

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成30年亀岡市議会定例会 12月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>富谷加都子 12月4日(火) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 認知症対策 について</p> <p>2 防災・減災 対策について</p>	<p>急速な高齢化の進展に伴い、2025年には認知症の人が約700万人となり、65歳以上の5人に1人が認知症になると予測されている。今や認知症は誰でも発症する可能性があり、誰もが介護者となり得るため、認知症施策の取組みは、本市においても重要課題である。</p> <p>政府が策定した認知症施策推進総合戦略「新オレンジプラン」に基づいた認知症対策の充実・加速化を期待する。</p> <p>(1) 亀岡市内で認知症の診療が可能な医療機関はどこか。(医院名)</p> <p>(2) 認知症に関わる相談窓口における年間の相談件数は。(地域包括支援センターや市役所の窓口等)</p> <p>(3) 認知症初期集中支援チームの活動件数は。</p> <p>(4) 認知症患者の家族で、医療機関につなげることができずに悩んでいる人は多いと察する。認知症初期集中支援チームの存在をどのように普及・啓発しているのか。</p> <p>(5) 来年度の認知症サポーターステップアップ講座の計画は。(内容、目標受講者)</p> <p>(6) かめおか認知症カフェ「みのり」の利用実績は。</p> <p>(7) かめおか認知症カフェ「みのり」を今まで以上に利用しやすくする考えはあるか。</p> <p>(8) 地域の人が気軽に立ち寄れる居場所として、認知症カフェをふやす考えはあるか。</p> <p>今年の夏は災害が相次ぎ、特に多くの人々が被災された地域において、「自助」「共助」の大切さを実感した。それぞれの力を借り、適切な避難行動ができる支援体制の構築が課題である。</p> <p>(1) 地域によって防災の課題が異なるため、地域に即した防災活動が必要である。地域版ハザードマップを作成している地域もあるが、災害時における地区防災力をより強化するために、地区防災計画を推進する考えは。</p> <p>(2) 亀岡市内で地区防災計画を作成している地域はあるのか。</p> <p>(3) 今後も予想を超える災害が起こると考えるが、亀岡市のタイムラインの状況は。</p> <p>(4) 自主防災組織において避難行動を示すタイムラインを作成している地域はあるのか。</p> <p>(5) 京都府が水害等避難行動タイムライン作成指針を示しているが、それを推進する考えは。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 市民サービスについて</p>	<p>(6) 今年の夏は40カ所の避難所が開設されたが、各避難所において、地域住民が避難所を開設・運営するための避難所運営マニュアルは完備されているのか。</p> <p>(7) 食品ロスの観点から、防災備蓄食品の有効活用の状況は。(活用方法、廃棄量)</p> <p>(8) 乳児用液体ミルクを備蓄する考えは。</p> <p>市民からのさまざまな声に対する対応について問う。</p> <p>(1) 郵便等投票証明書交付申請書のダウンロードサービスを拡大する考えは。</p> <p>(2) 窓口で申請する各種証明書等を発行する時に、使用期間の過ぎた市の封筒を活用できないか。</p> <p>(3) 窓口での要望に対する進捗状況等の回答を望む声を多く聞くが、対応できる範囲は。</p> <p>(4) 障害者がコミュニティバスに乗車する際には障害者手帳の提示が必要だが、料金の支払いと同時であるため負担を感じると聞く。提示に代わる手立てができないか。</p>	市長
2	<p>石野 善司 12月4日(火) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税によるさらなる収入の確保について</p> <p>2 こども医療費助成制度について</p>	<p>昨年度の本市への寄附額は約3億8千万円と府内のトップで、京都丹波・亀岡産野菜セットが好評であった。総務省は過熱する返礼品競争を是正するため法規制する方針を決定した。地場産品以外を送った場合など基準に反した自治体は、寄附者の税額控除を認めない姿勢を示している。</p> <p>(1) 改善策の検討についての考えは。</p> <p>(2) 返礼品や郵送料、委託料などの経費を除いた実収入はどのくらいか。</p> <p>(3) ふるさと納税の市財政への効果はどのくらいか。</p> <p>健やかに子どもを産み育てる環境づくりの環境として、子どもの医療費の自己負担分の一部を助成し、健康の保持増進を図る制度のひとつであり、その拡充は、子育て世代からの要望も強いところである。京都府においても、子育て環境日本一の実現に取り組む中、子育て支援医療助成制度あり方検討会議が設置され、医療費助成制度について議論されていると聞くが、今後の亀岡市の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 亀岡市のこども医療費助成制度に係る財源負担はどのようなものか。</p> <p>(2) 小学校卒業まで制度を拡充する場合、どのくらいかかるのか。</p> <p>(3) 中学校卒業まで拡充するのだろうか。</p> <p>(4) 京都府の制度検討を受けて亀岡市としては、どのようにしていく方針であるのか。</p> <p>(5) 今後の方向性は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 大河ドラマ「麒麟がくる」による観光振興について</p> <p>4 篠地区コミュニティバスの本格運行化について</p> <p>5 社会体育活動における学校施設の管理について</p>	<p>大河ドラマが「麒麟がくる」に決定して以来、6カ月が経過し、ドラマ放映まで1年となった。ドラマでの観光振興と地域経済の活性化への期待が膨らんでいるところである。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>篠地区でのコミュニティバスが運行され、2年半が経過した。先般は、市民アンケートを実施されたところである。</p> <p>(1) 現在の利用状況は。 (2) 今後の方向性は。</p> <p>体育館を夜間に使用しているが、多くの照明が点灯していない。以前は卒業式や入学式まで待っていれば点灯していた。</p> <p>(1) 現状を把握しているのか。 (2) 今後の対応はどのように考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
3	<p>竹田 幸生 12月4日(火) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 JR千代川駅整備計画について</p> <p>2 月読橋球技場のトイレ整備について</p> <p>3 中学生議会で提起されたトイレのプライバシーについて</p>	<p>平成25年3月にJR千代川駅周辺を重点整備地区とした「亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)」が策定され、整備が進められてきた。JR嵯峨野線千代川駅整備促進協議会では、平成30、31年度のバリアフリー整備でスロープの設置について説明されており、西側スロープ工事が間もなく開始される。</p> <p>(1) 今年度の事業実施の具体的内容は。 (2) 来年度に実施予定の事業の内容は。 (3) JR嵯峨野線千代川駅整備促進協議会で以前説明された内容が、JRとの協議により後退していると受取れる部分(雨除け)があるが、それについてはどうか。 (4) 地域住民の利便性向上として、東側の仮設階段から改札までの舗装や郵便ポスト設置の要望があるがどうか。 ホーム間の移動が課題としてある。また、市長から自由通路の整備についての答弁もあった。 (5) 現時点での自由通路の基本的な考え方は。 (6) 事業完成までの費用、期間はどの程度であるか。</p> <p>これまでからもトイレ整備が要望されてきたが、現在のところ進展がない状況である。</p> <p>(1) 整備の方向性が検討されていると聞かされたがどうか。 (2) 市外の人が多く参加する大きな大会(亀岡市が後援する近畿大会等)の期間中に仮設トイレを設置し、利便性の向上を図ってはどうか。</p> <p>大成中学校のトイレの構造がプライバシーの配慮に欠けているとの提起があったが、再度確認を行う。</p> <p>(1) 現場を確認してどうであったか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>

			(2) プライバシーの観点から早急な改修が必要と思われるかどうか。	
4	<p>三上 泉 12月4日(火) 13:15~</p> <p>※一括</p>	<p>1 中学生議会について</p> <p>2 子育て・教育で憧れのまち、選ばれるまちについて</p>	<p>10月27日に亀岡市議会が中学生議会を開催し、市内8つの中学校の代表23人が、亀岡のまちづくりや学校を良くするための提案を盛り込んだ質問をし、積極的な討議がなされた。</p> <p>(1) 市長として中学生議会をどう評価しているか。</p> <p>(2) 中学生からの市政に対する提案をどのように受けとめ、今後の市政運営に生かしているか。</p> <p>(3) 理事者答弁が長すぎて再質問できない学校があったが、不要な答弁が多く端的に質問に答えることができなかった部分があるのではないか。</p> <p>(4) 市長答弁で「道路は要らないという、28年間の革新府政という時代があった。」等々の答弁に違和感や問題意識をもった人は少ない。中学生の質問に対する答弁として、ふさわしいものだったと考えているのか。</p> <p>(5) 「革新知事」「道路は要らないという時代」「道路整備が遅れた」などの答弁は、何を根拠に発せられたものか。</p> <p>(6) 小規模校の存続についての質問に対する教育長の答弁は、従来の学校規模適正化方針の主張を繰り返すだけのもので、中学生議員の質問の趣旨をくみ取って答弁するものではなかったのではないか。</p> <p>① 質問の趣旨の1つ目は、地域を持続的に維持・発展させるという視点から、地域に学校があることの重要性というものであったが、その視点に立っての所見は。</p> <p>② 質問の2つ目の趣旨は、少人数だからこそそのメリットや、教育効果についてであったが、そのことへの所見は。</p> <p>市長が言う「子育て・教育で憧れのまち」「選ばれるまち」の本質は何かについて問う。</p> <p>(1) 何をもちて憧れのまちを目指すのか。</p> <p>(2) こども医療費助成制度拡充についての決意は。</p> <p>(3) すべての子どもが小学校卒業までの医療費助成制度の対象になることは評価するが、多子世帯への制度との格差は依然としてある。また、小学校卒業まで拡充しても、政令指定都市の京都市を除けば、制度対象学年としては、依然として最低ランクである。今後どのようなところを目標とするのか。</p> <p>(4) 京都府内で、中学校給食の実施も計画もないのは、いよいよ亀岡市だけとなった。現在、デリバリー弁当方式ということにとどまっ</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>

		<p>3 「京都丹波子育て応援フェスタ」の講演中止、講師差替えについて</p>	<p>ているが、目標をどのようなところにおいているのか。</p> <p>1 1月24日に開催された、「京都丹波子育て応援フェスタ」は、同実行委員会に亀岡市も名前を連ねている。このフェスタの企画の1つ「子育て応援講演会」が妨害を示唆する予告を受けて、講演者に何の連絡も相談もせず、講師の差替えを決めた。</p> <p>(1) この事件の詳細を亀岡市はどのように把握していたのか。</p> <p>(2) 実行委員会の一員である亀岡市に対しては、どのような連絡・報告や相談があったのか。</p> <p>(3) 脅しや妨害に行政が屈する前例を作ったことに対する亀岡市の所見は。</p> <p>(4) 同じようなことが起こった場合、亀岡市は脅しや妨害に屈することなく毅然とした態度をとって、民主主義の原則を踏み外さず、市民の安全を守るために全力を挙げるべきである。亀岡市の決意を表明されたいと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
5	<p>藤本 弘 12月4日(火) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市路上喫煙の規制に関する条例について</p> <p>2 亀岡市における無電柱化の取組みについて</p>	<p>本年6月議会で亀岡市路上喫煙の規制に関する条例が議決され、7月1日から施行されている。</p> <p>(1) 平成31年1月から、市内のJR4駅周辺を路上喫煙禁止区域と定め、告示を行うと答弁されていたが、禁止区域は決定したのか。</p> <p>(2) 多言語表示による標識、看板等の設置は考えているか。また、その予算立てはどのように考えているか。</p> <p>(3) ロゴマークを含めた道路標示については、予算の計上も含め、どのように考えているか。</p> <p>(4) 公共施設やJR4駅を中心とした分煙化の取組みについては、どのように考えているか。</p> <p>亀岡市においても、議会で何度となく無電柱化について取上げ、他の議員からも提案のあったところである。</p> <p>(1) JR亀岡駅北において、スタジアムを中心に無電柱化に取組む考えはあるか。</p> <p>(2) JR亀岡駅から南郷公園までの区間、光秀まつりの行列が練り歩く区間、亀岡祭の山鉾が巡行する城下町の区間等、国へ補助金の申請を行い、無電柱化を進める考えはあるか。</p> <p>(3) アレックス・カー氏の講演を聞くまでもなく、亀岡市において条例や景観計画を策定し、実効性のあるものとして無電柱化を推進する考えはあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 空き家対策について</p>	<p>本年3月、本市においても空家等対策の推進に関する条例が制定され、この6月から施行されている。空き家の実態も、地域によって大きく異なり、偏在しているように思える。しかし、実情を聞くと、まだまだ対応しきれていない。所有者の所有権が壁となり、ほとんど手が出せていないのが現状である。</p> <p>(1) 本年の空き家に対する苦情は、何件くらい入っているか。</p> <p>(2) しっかりと対応し、解決できた件数は何件あるか。</p> <p>(3) 豪雨災害で土砂崩れがあった畑野町の空き家の件数は、どのくらいあるのか。</p> <p>(4) そのうち、倒壊の恐れのある空き家は何件くらいあるのか。</p> <p>(5) 畑野町の空き家で、市で対応できている空き家は何件くらいあるのか。</p> <p>(6) そのうち、解決できた件数は何件か。</p> <p>(7) 西山住宅の空き家の件数はどのくらいあるのか。</p> <p>(8) そのうち、倒壊の恐れのある空き家の件数は。</p> <p>(9) 対処できている件数は、どのくらいあるか。</p> <p>(10) 9月議会の答弁では、未調査の空き家が残り約700件あり、年間200件程度を調査していくとのことであったが、どのような形で、どの地域を調査していく考えか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 中学校給食について</p>	<p>本市においては、現在、詳徳中学校において、選択制のデリバリー弁当方式が試行されているが、今議会で、この方式を全中学校に広げるため987万円の補正予算が組まれている。</p> <p>(1) 中学校給食の考え方について、市長及び教育長の考えは。</p> <p>(2) 選択制の注文弁当は給食ではないので、生活保護世帯等の援助対象とはならない。この点については、どのように考えるか。</p> <p>(3) 給食センターを新たに設置しようとする多額の経費がかかるが、亀岡に設置された1日1万食の弁当を作ると言われる日清医療食品(株)等の民間企業の活用で、中学校の完全給食の実施を考えてはどうかと思うが、市長及び教育長の考えは。</p>	<p>市長 教育長</p>
		<p>5 小・中学校の全教室へのエアコンの設置について</p>	<p>国は、学校施設のエアコン設置について、来夏までに全教室へのエアコン設置を行うと800億円強の補正予算を組んでいる。</p> <p>(1) 亀岡市における小・中学校の全教室へのエアコン設置の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 国の補助金対応への申請はどのようにしているか。</p> <p>(3) 災害時、避難所となる小・中学校の体育館へのエアコン設置については、どのように考</p>	<p>教育長 所管部長</p>

		<p>6 学校のトイレの洋式化とトイレの改修について</p> <p>7 学校体育館の雨漏りの改修について</p> <p>8 中学校の国際交流の促進について</p>	<p>えるか。</p> <p>中学生議会でもトイレの改修と洋式化の要望が出ていた。</p> <p>(1) 小・中学校におけるトイレの洋式化の進捗状況は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 今後、全校のトイレの洋式化の計画は。</p> <p>(3) 大成中学校の男女トイレの改修の要望が出ていたが、対策はどのようになっているか。また、いつ実施するのか。</p> <p>大成中学校の体育館の雨漏りについて、以前にも取上げたが、中学生議会で再度改修の要望が出ていた。雨漏りで床がぬれ、試合中など、とても危険である。</p> <p>(1) 早急に改善すべき最重点項目と思うが、市は対応についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 他の学校においては、このような事例は出ていないか。</p> <p>中学生議会で、詳徳中学校から国際交流の推進について、もっと拡大すべきではとの意見が出ていた。</p> <p>(1) 現状の国際交流の取組みについては、どのようになっているか。</p> <p>(2) 今後の国際交流の拡大と取組みについては、どのように考えているか。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
6	<p>福井 英昭 12月4日(火) 14:45～</p> <p>※一括</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 旧亀岡町と亀岡市の成り立ちについて</p> <p>3 亀岡駅北地区の進捗について</p>	<p>市長は就任以来、次々に新たな施策を実行されてきており、その手腕に敬服する。その特長は、素早く動いて素早く実行することにあると思っている。しかし、その弊害があるのではないか。</p> <p>(1) 施策を十分に練りあげる前に提案しているということはないか。</p> <p>(2) あまりに市長が走りすぎて、ルールや制度を後から考えるという場面があるのではないか。</p> <p>亀岡市は、昭和30年に1町15カ村が合併して誕生したが、その合併の過程に旧亀岡町だけにある特徴がある。</p> <p>(1) 旧役場跡地がなく、財産や土地がほとんどすべて亀岡市に引き継がれているのは旧亀岡町だけである。事実上の吸収合併だったのではないか。</p> <p>(2) 亀岡地区の自治会の形態は、現状のまま3つの自治会として運営していくのか。ほかに方法はないのか。</p> <p>亀岡駅北土地区画整理事業について、詳細を問う。</p> <p>(1) 区画整理事業としては、いつ完成するのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 京都・亀岡保津川公園のあり方とアユモドキとの関係について</p> <p>5 道路行政について</p> <p>6 公共交通について</p> <p>7 コンパクトなまちづくりと市街化調整区域について</p>	<p>(2) 西側の住宅地の規模は。また募集を開始する時期は。</p> <p>(3) 東側の商業用地について、どのようなものが誘致され、どのようなまちになるのか。</p> <p>京都・亀岡保津川公園の方向性の指針は、亀岡のまちづくりを左右する。</p> <p>(1) 亀岡市はいつ、整備方針を出すのか。</p> <p>(2) 公園をゾーニングした理念は今もいきているのか。</p> <p>(3) 公園の整備について早急に決定すべきだが、この解決に向けての決意を問う。</p> <p>道路行政について、詳細を問う。</p> <p>(1) 市道北古世西川線について、交通状況は。</p> <p>(2) 市道北古世西川線三宅踏切の踏切連動信号機の進捗は。</p> <p>(3) 安町のみゆき坂交差点からアンダーパスで駅北へつなぐ道路の完成時期及び形状は。</p> <p>(4) 宇津根橋の完成時期及び両橋詰の安全対策は。</p> <p>(5) 市道並河蚊又線について、進捗状況と予定は。</p> <p>(6) 桂川右岸道路の宇津根橋上流部分について、実現性と必要性は。</p> <p>(7) 桂川右岸道路の宇津根橋下流部分について、京都・亀岡保津川公園との兼ね合いは。現状は進んでいないのではないかと。</p> <p>今年度の地域公共交通網形成計画策定にあたっては、市民アンケート等を参考にしようであるが、よりよい計画策定を望み、具体的に問う。</p> <p>(1) ふるさとバスのガレリア乗入れについては、今後拡大していく方向性か。</p> <p>(2) 地域デマンド交通は、地域によって、形を変えてでも進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>先日、コンパクトなまちづくりと、市が進めている市街化調整区域の既存集落まちづくり区域指定制度が矛盾しているとの報道がなされた。また、都市計画審議会でも同様の意見があった。</p> <p>(1) この矛盾しているとの見解に対し、市はどのように考えているのか。</p> <p>(2) これは、誤解や物事の一面を捉えての見解だと私は考えるが、これをわかりやすく実施するための決意は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
7	<p>平本 英久 12月5日(水) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 有害鳥獣による農作物への被害対策について</p>	<p>農家にとって大変大きな問題である有害鳥獣による農作物への被害対策について問う。</p> <p>(1) 本市における近々の有害鳥獣による被害の状況はどうか。</p> <p>(2) 地元の有害鳥獣駆除に対する補助制度の見直しについて、検討の結果どうであるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 動物愛護の観点から見た犬や猫などペットの飼育方法や扱いについて</p> <p>3 自然豊かな本市の特色を生かした新しい保育事業のあり方について</p> <p>4 今後の本市における防災や減災、災害復旧への対策について</p>	<p>(3) 有害鳥獣対策について、今後どのような取組みを検討しているのか。</p> <p>多くの人から愛される犬や猫などペットの飼育方法などについて、本市での課題を問う。</p> <p>(1) 本市における動物への虐待などは報告されているのか。</p> <p>(2) 営利を優先させ、動物愛護の観点から飼育方法などに問題のあるブリーダーが全国的に存在すると聞かすが、本市においてそうした業者は存在しているのか。</p> <p>(3) 犬など登録を必要とするペットが存在するが、本市における登録の現状はどうか。</p> <p>(4) 野良猫や保護猫などに対する不妊手術などへの補助や助成はどのようになっているのか。</p> <p>最近森と自然を生かした保育や幼児教育に取り組む自治体が全国的に増加傾向にあると聞かすが、自然豊かな本市としての今後の対応と取組みについて問う。</p> <p>(1) 自然保育とはどのような考え方でどのような取組みであるのか。</p> <p>(2) 他の自治体における取組み状況や導入の現状はどうか。</p> <p>(3) 自然保育の導入により、子どもの育みにどのような効果が考えられるのか。</p> <p>(4) 本市における自然保育導入や新たな取組みについて、検討は行っているのか。</p> <p>本年は豪雨や台風など災害が多く、甚大な被害に見舞われたが、本市における今後の対策について問う。</p> <p>(1) 度重なる災害を通して、避難時に市民の生命・安全を守るため、見えた課題は何か。</p> <p>(2) 災害時に市民への避難勧告や避難指示を行うが、避難行動に際して今後どのような情報発信と啓発を行うのか。</p> <p>(3) 今回の台風では公園や林道、神社などにおいて倒木が大変多く見受けられたが、防災・減災に努めた上で、なお被災した場合、本市として今後どのように対応していくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
8	<p>並河 愛子 12月5日(水) 10:45~</p> <p>※一括</p>	<p>1 消費税増税について</p>	<p>安倍政権は、来年10月に消費税を現在の8%から10%に引上げることを閣議決定した。</p> <p>(1) 消費税が5%から8%に上げられたことにより、市民の暮らしは怎么样了と感ずるか。</p> <p>(2) 10%に増税された場合、市民の暮らしや地域経済への影響をどのように考えるか。</p> <p>(3) 消費税が10%になると、今でも節約して生活しているのに何を削ればよいかかわらないとの声が寄せられている。増税に反対す</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 子育て支援について</p>	<p>べきと考えるかどうか。</p> <p>子育てしやすいまちづくりが求められる。</p> <p>(1) こども医療費助成制度の拡大について、本市は京都府下で京都市に次いで制度が貧弱である。</p> <p>①小学校卒業まで無料にした場合の経費は。</p> <p>②府下の自治体でも中学校卒業まで助成を行う流れとなってきた。他市の施策等は研究しているのか。</p> <p>③本市におけるこども医療費助成の拡大の考えは。</p> <p>(2) 就学援助制度について問う。</p> <p>①他市ではクラブ活動費・生徒会費・PTA会費等への支援が実施されているが、本市においては未実施である。経済的に困窮されている家庭もあるため、支援すべきと考えるかどうか。また、他市との比較はどうか。</p> <p>②入学準備金を制服等の販売時まで支給してほしいとの強い要望がある。全国的に見ると、行政が早めの準備を行い、年始早々に支給している自治体もある。本市も利用者の願いに応えるべきだと思うかどうか。また、昨年度の実績は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>3 災害に強いまちづくりについて</p>	<p>今年自然災害で被害が続出した。地球温暖化の影響もあり、この地域は大丈夫と言えない状況である。亀岡市は、これまでから水害との戦いと言われてきた。開発が進み、遊水機能を持っていた田んぼがなくなることにより、水害がさらに拡大するのではないかと危機感を感じている市民も少なくない。早急な対策が求められる。</p> <p>(1) 河川改修について問う。</p> <p>①本年は府管理河川の整備が行われたが、まだまだ不十分である。特に土砂の堆積は毎年浚渫を実施しなければ災害につながる。桂川及び各支川の浚渫計画はどうか。また、河川改修率は他市と比較してどうか。</p> <p>②内水氾濫への対応はどうか。また、京都府と亀岡市の役割はどうか。</p> <p>(2) 土木事務所、保健所の設置について問う。</p> <p>①災害が多発する中で、土木事務所の果たす役割は重要である。以前は亀岡市内に土木事務所が設置されていたが、現在は南丹市に設置されている。また、市民の健康や災害への安全対策のためにも保健所の設置が求められる。市民要望の声も高く、京都府に対して土木事務所支所や保健所の設置を求めるべきと考えるかどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 地元業者への支援について</p>	<p>国の進めるアベノミクス政策が地方にも波及し、景気がよくなると宣伝されてきたが、地域経済は厳しい状況となってきた。</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>(1) 商工会議所だけでなく、市独自で商店街の現状について調査すべきと考えるが、実施しているのか。また、今後の計画は。</p> <p>(2) 商店街の振興・支援に向けて、自主的な取組みを企画立案し、実行する力を育てるため、専門家の派遣指導の充実や専従事務局職員の養成・確保等の助成制度の創設を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 地元業者の仕事おこしに効果のある住宅や商店街のリフォーム制度を創設し、地域経済の活性化を図るべきではないか。</p>	
9	<p>西口 純生 12月5日(水) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>今年に過去に例のないような災害が多発し、市民の安全確保については、その対策に大きな教訓を得た年でもあった。1年を振り返り、市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(1) 災害に強い亀岡の対策について問う。</p> <p>①市民への避難の伝達が重要である。近年にない強風による台風被害、豪雨による土砂災害の被害は異常であるが、温暖化の影響で今後も起きる可能性は非常に高い。避難勧告・指示は確実に伝達されたか検証は。</p> <p>②あらゆる手段が必要である。日吉ダム放流のサイレンが聞こえなかったり、避難の伝達が徹底できなかったりすると問題である。1つの手法として、強力なポケベル電波を活用した災害ラジオの併用が1人暮らし対応にも有効な手段となっている。この災害ラジオを活用する自治体も増えつつあると聞いているが、亀岡市の見解は。</p> <p>③民地の強風での倒木被害支援策は、もっと国や京都府に法整備も踏まえた支援策の変更を強く求めていくべきと考えるがどうか。</p> <p>④河川の堆積土砂が大きな影響を与えている。早期に撤去の対策を講じるべきだと考えるがどうか。</p> <p>(2) 環境問題について、内陸部で初めて海ごみサミットを開催した亀岡市であるが、環境問題の先進地としての役割を果たしているのか問う。</p> <p>①内陸部で初めて海ごみサミットを開催した亀岡市は、常に先頭に立って行動を起こしてきた。しかし、いまだ思い切った政策に踏み切れていない。世界では海に漂うプラごみ問題で大きな反響が湧き上がっている。今こそ環境問題に取り組んできた亀岡市が積極的な姿勢を示すべき時が来たと考えるが見解を。</p> <p>②レジ袋有料化の問題がプラごみ問題の解決に大きな効果があると言われている。亀岡市はどこよりもいち早く条例制定するのが使命ではないのか。</p> <p>(3) 亀岡祭の巡行を阻む架線の迂回・地中化問題について、亀岡市の見解を問う。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 地域課題について</p> <p>3 教育行政について</p>	<p>①方法論として、銚子の改修や架線の迂回・地中化の検討はされてきたのか。</p> <p>②銚子巡行に影響のある架線(関電・NTTなど)の地中化については、関係事業所には何のメリットもなく、架線の管理者任せでは無理である。亀岡祭が亀岡にふさわしい祭りとなってきた中、関電やNTTに頼らず行政が伝統文化を守る気があるのか見解を。</p> <p>③対応すべき場所は何カ所存在するのか。毎年1カ所ずつでも実施していけば、数年後にはできる。取組みについて問う。</p> <p>④府道に絡む部分について、京都府との協議はしているか。</p> <p>(4) 保津保育所の歌がないのはなぜかを問う。</p> <p>①地元のふるさとを情想する言葉の入った歌は、最初の集団生活において重要ではないか。なぜその歌がないのか市長の見解を。</p> <p>地域住民が抱える課題として以下の点を問う。</p> <p>(1) 高齢者の敬老乗車券片道1枚でガレリアまでたどり着きたい、乗継ぎ可能乗車券を考慮してほしいという声があるが、見解は。</p> <p>(2) 七福神めぐりの整備は、なぜ進捗が見られないのか。</p> <p>(3) 七谷川上流堰堤まで倒木等で到達できない現状をどのように考えているか。</p> <p>(4) 七谷川上流堰堤の堆積土砂の撤去問題について、どのように認識しているか。</p> <p>(5) 七谷川の改修工事について、本年度の工事予定区間が短いと聞いている。計画どおりできるのか。</p> <p>(6) 七谷川改修に絡めた防災道路の位置づけについて、亀岡市の見解を明確にすべきと考えるがどうか。</p> <p>(7) 河原林町内の雨水排水機能が立ち遅れている。診療所前の改修と、理研ビタミン西側から東町会議所前区間の排水溝が狭小のため困っているが、計画は。</p> <p>東・西別院小学校の特認校制度募集について問う。</p> <p>(1) 両校の今年の特認校希望者の応募について、前回の応募を経験し、検証したか。その結果、今回どう対応したか。</p> <p>(2) 行きたい学校と思わせるような特色ある教育が広報できているか。</p> <p>(3) 通学しやすい交通環境は整っているか。</p>	<p>所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
10	<p>木曾 利廣 12月5日(水) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 河川事業について</p>	<p>亀岡地域の平成30年度の桂川治水対策事業(桂川本川及び支川)について、総括の検証を問う。</p> <p>(1) 桂川治水対策で大井町から要望があった、本堤防の強靱化の取組みについての進捗状</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 京都スタジアム（仮称）について</p> <p>3 各文化センターの運営について</p> <p>4 外郭団体の民営化について</p> <p>5 学校規模適正化問題について</p>	<p>況を問う。</p> <p>(2) 桂川治水対策の内容で、ドローンによる堆積土砂の現状については、30万立方メートルを撤去されたと聞かすが、さらに堆積する多くの土砂はいつ撤去されるのか。</p> <p>(3) 桂川の各支川の堆積土砂の撤去状況は。</p> <p>京都スタジアム（仮称）の建設工事が進捗する中、2020年春オープンと聞かすが、広く市民が利用できるスタジアムとなるよう、利用提案と交通シミュレーション・交通対策についての公表と、市民の関心の高い京都・亀岡保津川公園用地の活用計画の公表について問う。</p> <p>(1) スタジアム完成後の残された課題とされる交通対策はいつ公表されるのか。</p> <p>(2) 京都・亀岡保津川公園で、市民の集える公園整備の計画についての考えは。</p> <p>(3) 京都スタジアム（仮称）を障害者の皆さんが多く利用できる環境にするための協議会の設置を京都府に提案してはと考えるがどうか。</p> <p>文化センター・児童館の利用拡大と各館の適正化及び現在の利用料金のあり方についての考えを問う。</p> <p>(1) 人権福祉センター及び各文化センターの運営の適正化と利用促進のための協議内容について問う。</p> <p>(2) 人権福祉センター及び各文化センターの使用料の見直しを実施することについての考えは。</p> <p>行財政改革の観点から、外郭団体への財政支援について、事業内容の観点からも民営化すべき団体を考えてはと思う。他市の行財政改革状況を見て、本市でも取組むべきと考えるが、次の2点について問う。</p> <p>(1) 農業公社の民営化についての考えは。</p> <p>(2) 環境事業公社の民営化についての考えは。</p> <p>現在、学校規模適正化が市内各地で教育委員会の指導のもと進められている。該当する地域での説明会については一定理解されているが、学校・保護者の考えを整理して、要望にできる限り応える考えはあるのかを問う。</p> <p>(1) 通学路の安全対策の実施や、今までの学校との環境の変化に対する格差をできる限りなくし、それぞれの地域事情や学校の考え方・意見を十分踏まえて、変更する地域や保護者に最善策を示すべきであると考えながら、教育委員会の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
--	--	---	--	---

11	<p>馬場 隆 12月5日(水) 14:00～</p> <p>※一括</p>	<p>1 子どもの遊びの広場を保障する本市の取組みについて</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)建設の諸問題について</p> <p>3 新火葬場建設問題について</p>	<p>去る11月23日(勤労感謝の日)、生涯学習都市宣言30周年を記念して、第80回コレッジ・ド・カメオカが、作家・女優の中江有里氏を招いて開かれた。会場いっぱいの聴講者を前に氏は「読書しながら考えたこと」として、人生を豊かにする本との出会いを、自らの体験を踏まえ熱く語られた。</p> <p>読書を「内遊び」と規定すると、子どもたちは大人になるまでに様々な学びを通して生きていく力を身につけていく。とりわけ、子ども期の「外遊び」は子どもの学びにとって、とても重要なことと考える。</p> <p>そこで、子どもの「外遊び」を保障する、本市の遊びの広場を確保する取組みについて、以下質問する。</p> <p>(1)本市には都市計画公園が35カ所、開発公園が155カ所あるが、これらの公園が子どもたちの遊びの広場たる役割を果たしているかについて問う。</p> <p>①町別の公園面積は、それぞれどれだけ保有されているのか。また、格差是正は図られてきたのか。(各町別の差異はどれだけあるのか。)</p> <p>②今後の方策は。</p> <p>京都府の浸水想定区域図(10月5日公表)によると、スタジアム建設予定地は1～2mの浸水が想定されている。</p> <p>(1)このような浸水が想定される区域で、サッカー競技は可能なのか。</p> <p>(2)京都・亀岡保津川公園が、スタジアム建設予定地から変更された理由について問う。</p> <p>①環境保全専門家会議の座長提言をどう受け止めているのか。</p> <p>②三宅浄水場系取水源は水道水源であることへの所見は。</p> <p>③アユモドキの生息地であり、産卵・越冬地であるという事実への所見は。</p> <p>④亀岡市都市公園条例に定める建ぺい率を上回っていた事実(当時)と、特例措置をこれからも同地で認める根拠は。</p> <p>⑤これに要した調査費、基本設計・実施設計費、土地買収費はいくらであったのか。</p> <p>⑥現在の建設場所での、調査費、基本設計・実施設計費、土地買収費はいくらなのか。</p> <p>⑦工事費の総額はいくらか。うち、亀岡市の負担額と比率は。</p> <p>土砂崩れを起こした余部町丸山に優位性があるとされている根拠を問う。</p> <p>(1)余部町丸山は利便性が優れているとされているが、その根拠は何か。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	--	--	---	--

		<p>4 市の窓口サービスについて</p>	<p>きたものがある。</p> <p>(1) 本市の定数は。</p> <p>(2) 担当区域とその人員数は。</p> <p>(3) 委員活動費は。</p> <p>(4) なり手不足と委員の高齢化が進む中、委員確保をどのように考えているのか。</p> <p>(5) 委員に提供している情報を更新する期間は。</p> <p>(6) 災害時の支援者への対応は、委員自身への危険を伴うため、他の方法を考えられないか。</p> <p>移住・定住促進施策として、子育て層のUターン者やトカイナカ暮らしを望むIターン者に、住宅取得や引っ越し代等を支援する取組みがある。</p> <p>(1) 転入者に、窓口でどのような説明をしているのか。</p> <p>(2) 移住・定住助成金の話等はしているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
13	<p>明田 昭 12月5日(水) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 旧亀岡会館・中央公民館の除却について</p> <p>2 新火葬場について</p> <p>3 道路整備について</p> <p>4 旧市立幼稚園跡地について</p>	<p>旧亀岡会館・中央公民館の除却について問う。</p> <p>(1) 除却の進捗状況は。</p> <p>(2) 除却跡地に整備を予定されている駐車場の運営方法は。</p> <p>新火葬場について問う。</p> <p>(1) 新火葬場整備基本計画の策定経過と建設場所は。</p> <p>(2) 現火葬場での建設が、市民にとっては負担が最小限で済むと思うがどうか。</p> <p>(3) 下矢田地区雑水川極楽橋南東にある旧火葬場跡地の利活用の予定は。</p> <p>亀岡地区内は家屋が密集しており、道路整備が困難を極めることはわかるが、知恵と工夫により、誠意をもって取り組んでいただかなければならないと考える。</p> <p>亀岡地区内の道路整備について問う。</p> <p>(1) 府道亀岡園部線の春日坂交差点から国道9号古世口までの整備についての考えは。</p> <p>(2) 国道9号の渋滞緩和として計画されている、市道城山医王谷中山線の現状認識は。</p> <p>(3) 歴史的町並みの本町線の改修の進め方は。</p> <p>(4) 各町自治会から要望の出ている、鉾町内の他の道路改修の予定は。</p> <p>(5) 現行のカラー舗装に代わる、強度のある舗装は可能か。</p> <p>(6) 鉾巡行路の横断箇所の電線地中化についての考えは。</p> <p>旧市立幼稚園跡地について問う。</p> <p>(1) 跡地の利用計画はどのようになっているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>5 新資料館について</p> <p>6 老人福祉センターについて</p> <p>7 公共施設等総合管理計画の進捗状況等について</p> <p>8 日本遺産について</p>	<p>(2) 跡地利用にあたって地元の意見は聞いたのか。聞いたのであれば、どのような要望が出たのか。</p> <p>(3) 急傾斜地の危険対策はどうか。</p> <p>新資料館について問う。</p> <p>(1) 新資料館構想で様々な検討をされているが、どの点が一番重要視されているのか。</p> <p>(2) 亀岡から亀山への市名変更について、どう思われるか。</p> <p>(3) 新資料館は、亀岡の文化度の尺度になると思うがどうか。</p> <p>老人福祉センターについて問う。</p> <p>(1) 老人福祉センターの無償譲渡が予定されているが、その内容は。</p> <p>亀岡地区における公共施設等総合管理計画の進捗状況等について問う。</p> <p>(1) 亀岡地区における公共施設等総合管理計画の進捗状況と、広域連携の現状は。</p> <p>保津川について以前は、歴史的文化遺産登録が可能と思っていたが、現在、「日本遺産」としての認定に向け、取組みを進めていただいていると聞いている。</p> <p>「日本遺産」としての認定により、文化庁から「ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組みが支援される」こととなるが、このことについて問う。</p> <p>(1) 「日本遺産」と保津川の関連性はどうか。</p> <p>(2) 亀岡にある多くの遺産・史跡名勝や民俗文化財はどのように考えたらよいのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
14	<p>田中 豊</p> <p>12月6日(木)</p> <p>10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 災害復旧について</p>	<p>7月豪雨に始まり、先の台風によって、市内でも大きな被害が発生した。以下の点を問う。</p> <p>(1) 農地・農業用水路等の災害復旧について問う。</p> <p>① 畑野町千ヶ畑川沿いの被害状況の把握は。</p> <p>② その原因はどうか。</p> <p>③ 千ヶ畑川の復旧が急務であるがどうか。</p> <p>④ 千ヶ畑川沿いの農地・農業用水路の復旧計画は。</p> <p>⑤ 東本梅町大内の農地・農業用水路の復旧計画は。</p> <p>⑥ 本梅町西加舎では、砂防堰堤が決壊し、水田が壊滅的である。国営ほ場整備地区内であるが、復旧計画は。</p> <p>(2) 山林の災害復旧について、被害木の伐倒・集積・再造林に対する支援策はどうか。</p> <p>(3) 農地災害復旧事業費について、負担割合はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>(4) 職員体制について問う。</p> <p>①災害対応に当たった職員の1月当たりの時間外勤務時間数は。</p> <p>②技術職員の増員が必要と考えるがどうか。</p> <p>(5) 天川排水路について問う。</p> <p>①今年の豪雨の中で、平成28年度に施工された天川排水路改修工事(その1)と29年度に施工された天川排水路改修工事(その2)は、防災上大きな役割を果たしたと思うが、評価はどうか。</p> <p>②市長は、この排水路について、平成29年9月15日に「天川に食われた」と発言されたが、今もそう考えているのか。</p>	<p>天川の墓地近くに不法投棄された産業廃棄物の撤去について問う。</p> <p>(1) 昨年、約半分の量が撤去されたが、残っている産業廃棄物の撤去計画はどうか。</p> <p>(2) 本来の管理責任は京都府にあると考えますが、昨年と同様の手法で撤去作業が行われるなら、亀岡市の負担も伴うことになる。市負担額を京都府に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 行為者や土地所有者の意向はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 天川の産業廃棄物処理について</p> <p>3 森林経営管理法について</p>	<p>森林経営管理法が、今年の5月25日に国会で成立し、来年4月1日から施行されることになった。その内容には多くの問題点や懸念がある。次の諸点を問う。</p> <p>(1) 補助金制度を間伐中心から皆伐・再造林へシフトすることで、短伐期皆伐方式が激増するのではないか。</p> <p>(2) 短伐期皆伐方式の問題点は何か。</p> <p>(3) 長伐期多間伐施業方式の方が人工林の施業としては優れているのではないか。</p> <p>(4) この法律で森林所有者の位置づけは。</p> <p>(5) 「伐採業者」を「林業の担い手」として位置づけることに対する所見は。</p> <p>(6) この法で市町村に与えられる役割は極めて重いが、本市の場合それに対応できるのか。</p> <p>(7) 市町村に過大な責務が負わされると考えるがどうか。</p> <p>(8) 法の見直しを求めるべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 市立病院経営と消費税について</p>	<p>保険診療は消費税が非課税であるが、診療のための設備や医薬品などの仕入れには消費税(控除対象外消費税)がかかる。</p> <p>(1) 平成29年度病院事業会計決算書23ページによると、「材料費」として340,257,045円が支出されているが、これに係る消費税額はいくらか。</p> <p>(2) 支払った消費税額のうち、診療報酬による補てんはいくらか。</p>	<p>病院事業管理者 所管部長</p>	<p>病院事業管理者 所管部長</p>

			(3) 国に対して、公的医療に消費税の「ゼロ税率」の適用を求めるべきではないか。	
15	小川 克己 12月6日(木) 10:45~ ※一問一答	1 防災について	<p>今年は平成30年7月豪雨、台風接近により本市も甚大な被害を受けた。また、大阪北部地震発生後も各地で地震が発生し、近い将来発生するかもしれない大地震を危惧するところである。防災について問う。</p> <p>(1) 水害と地震、一時的な避難と長期的な避難ではケースが違うと思うが、避難所開設について問う。</p> <p>①避難所の開設マニュアルはあるのか。また周知はできているのか。</p> <p>②避難所の食料について、どのように考えているか。</p> <p>③派遣される物資輸送班や保健師など、市民にわかるように、ベストを着用してはどうか。</p> <p>(2) 事前防災の考え方について問う。</p> <p>①地域の自主防災会は、他の組織との共助の要となる組織である。リーダー研修会や自主防災会議を開催するなど、事業の進め方の考えは。</p> <p>②地域に合った防災訓練として、例えばドローンの活用やD I G演習の実施などで、ハザードマップの活用を考えてはどうか。</p>	市長 所管部長
		2 桂川右岸道路について	<p>都市計画マスタープランの構想路線として桂川右岸道路は、並行する国道9号や、市道・府道の渋滞緩和、災害時の緊急物資輸送路として亀岡市において重要な路線と考える。</p> <p>(1) 国営ほ場整備桂川西工区や国道9号ダブルルート整備構想との整合性や、地域要望を受けての市の考え方は。</p> <p>(2) 宇津根橋から下流の右岸道路拡幅について、今後の予定は。</p>	市長 所管部長
		3 小学校の整備について	<p>亀岡市の北の玄関口である千代川町では、現在人口もわずかであるが増加傾向である。高野林・小林土地区画整理事業も鋭意進めていただいております。将来的な人口増も見えてきた。</p> <p>(1) 千代川小学校の将来的な整備についての所見は。</p> <p>(2) 教室へのエアコン設置の時期は。</p> <p>(3) 通学路である市道高野林線は、歩車の分離、歩道の明示化ができていない状況であり、安全対策を望むが予定は。</p>	市長 教育長 所管部長
		4 かめおか霧の芸術祭について	<p>かめおか霧の芸術祭がギャラリーかめおかで開催され、25日にはキックオフイベントが開催された。</p> <p>(1) 霧の芸術祭キックオフイベントとは、何に向けてどのような取り組みが行われたのか。</p>	市長

		<p>3 日本の特別地域 特別編集 80これでいいのか京都府について</p>	<p>地域批評シリーズの京都府版が出ている。亀岡市については、腹立たしい文面もあるが、JR亀岡駅から京都駅まで快速で20分程度であるのに「遠路はるばる大変やね」と言われる。善悪は別として書店で販売されている本を客観的に読み、感じたことについて問う。</p> <p>(1) 市公用車に「二条駅から15分」などのラッピングを行い、近さをアピールし、観光客やサッカー観戦の来場者増にもつなげてはどうか。</p> <p>京都府の自治体の人口ランキングでは3位の本市だが、財政力指数ランキングではベスト10にも入っていない状況にある。</p> <p>(2) 財政力を上げるため、どのような施策を講じるのか。</p> <p>北陸新幹線誘致に失敗した亀岡市の暗中模索との文面があり、「保守的でいつもババを引く亀岡市民の損な役回り」という亀岡市の見出しになっているが、京都市へのアクセス道路は何としても新設したい。多くの人が期待する新丸太町ルートやイオンモール京都桂川方面への直線ルート、個人的には沓掛から王子への3キロのトンネルが最短ルートと考えるが、ルートが一本化していない状況にある。</p> <p>(3) 本市が陸の孤島にならないため、ダブルルート化の早期実現に向け、道路法線は国土交通省に引いてもらうのがよいと考えるが、所見は。</p> <p>京都府の道路予算は全国的に非常に低いレベルであるが、1970年の万国博覧会開催時に、総じて国直轄予算で道路が整備されたが、当時の京都府知事は万博反対であり、道路整備が遅れたと考える。今回2度目の大阪万国博覧会が決定したことについて問う。</p> <p>(4) 万博に関わり、本市と大阪の高槻・茨木・箕面を結ぶそれぞれの道路整備を要望してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
17	<p>菱田 光紀 12月6日(木) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 有機農業のまちづくりについて</p> <p>2 土づくりセンターの充実について</p>	<p>先日、亀岡を有機農業の町にする！～2018年第2回「食と農の未来会議 in 亀岡」というセミナーがギャラリーかめおかで開催され、市内外から多くの参加者があり、関心の高さを感じた。</p> <p>(1) 亀岡が有機農業のまちを目指すことについて市長の所見は。</p> <p>(2) 亀岡を有機農業のまちにするために、農家や消費者である市民に期待することは何か。</p> <p>(3) 亀岡を有機農業のまちにするために、行政としてできることは何か。</p> <p>過日のアグリフェスタに参加して土づくりセンターの臭気が気になった。</p> <p>(1) 土づくりセンターの臭気対策はどのようにされているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 特定外来生物による市民生活への影響について</p> <p>4 風疹に対する予防啓発について</p>	<p>(2)施設も相当老朽化しているように見受けられるが、改修等の予定はどのようになっているのか。</p> <p>今年の台風21号の被害では、神社も含めて相当な倒木が発生した。これらをごみとせず、資源として活用することが重要である。</p> <p>(3)平成28年9月に閣議決定されたバイオマス活用推進基本計画を基に、今後、森林資源の活用が求められる。亀岡市として、木質バイオマスの活用状況はどうなっているか。</p> <p>(4)土づくりセンターで、木材チップを活用した堆肥作りをさらに充実・推進してはどうか。</p> <p>特定外来生物として指定されている動植物の中にアライグマやヒアリ、セアカゴケグモなどがある。</p> <p>(1)亀岡市内におけるこれらの発見状況は、どうなっているか。</p> <p>(2)これらの被害状況はどうか。</p> <p>(3)被害を防ぐための啓発はどのようにされているか。</p> <p>(4)先日もセアカゴケグモが発見され、発見者により駆除されているが、正しい知識のもとに対処できるよう、効果的な啓発が必要ではないか。</p> <p>今年の風疹の累計患者数が全国で5年ぶりに2千人を超える勢いであり、その対応策として抗体検査やワクチン接種が重要だとされている。</p> <p>(1)風疹にかかると、どのような症状が出るのか。</p> <p>(2)本市における風疹の発生状況はどうか。</p> <p>(3)抗体検査やワクチン接種のための啓発はどのように行っているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 病院事業管理者 所管部長</p>
18	<p>酒井安紀子 12月6日(木) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 学校ハラスメント相談窓口の設置について</p> <p>2 公共的団体について</p>	<p>9月議会において、亀岡市立学校ハラスメントの防止に関する要綱で定められているとおり、児童・生徒・保護者から相談を受ける窓口を設置するとの答弁があった。</p> <p>(1)設置に向けた取組みの進捗状況は。</p> <p>(2)どのようなことがハラスメントになるかを周知することで防止を図ることが重要ではないか。</p> <p>(3)学校で慣習的に行われてきたことについて、ハラスメントに発展するおそれがあるものがないか見直しが必要ではないか。</p> <p>(4)相談対応の質をどのように確保する考えか。</p> <p>財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例第5条には、公共的団体に普通財産を無償又は時価よりも低い価額で貸付けることができると規定</p>	<p>教育部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 公の施設の 公平な利用につ いて</p>	<p>されている。その他の条例・規則等にも、公の財産に関して公共的団体の使用料を減免することができるなどの規定がある。</p> <p>(1) 公共的団体が優遇される理由は何か。</p> <p>(2) 公共的団体であるか否かは実態で判断されるべきではないか。</p> <p>(3) 公共的団体とは何かということ及び団体への優遇がどのような考え方に基づいて行われているのかを市民に明らかにすべきではないか。</p> <p>公の施設の運営状況が適正なものであるかを調査し、市民にも公開するとの答弁があった。</p> <p>(1) どの施設にどのような課題があるか、今後の対応はどうするかを公開すべきではないか。</p> <p>(2) 目的外使用の状況について、具体的に公開すべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	-----------------------------------	--	--------------------